

## 第6章 子ども・子育て支援【問23】

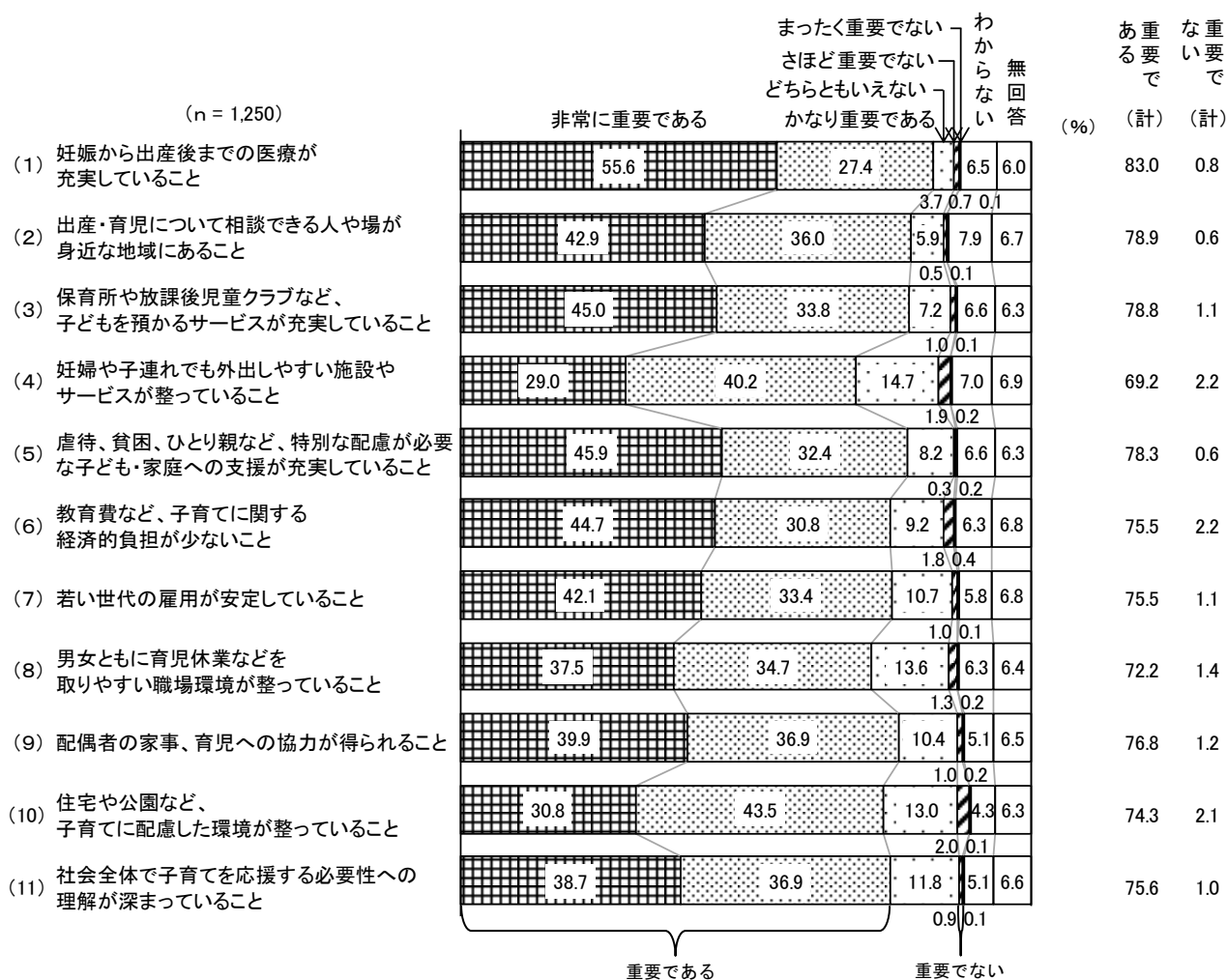
### 1 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(重要度)【問23】

#### 【全体の状況】

安心して子どもを産み育てられる環境の整備に関して11項目を提示し、それぞれどれくらい重要だと思えるか尋ねたところ、「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせた《重要である》では、「(1) 妊娠から出産後までの医療が充実していること」が83.0%で最も多く、「(2) 出産・育児について相談できる人や場が身近な地域にあること」(78.9%)と「(3) 保育所や放課後児童クラブなど、子どもを預かるサービスが充実していること」(78.8%)が約8割で続いた。

一方、「まったく重要でない」と「さほど重要でない」を合わせた《重要でない》では、すべての項目(0.6%~2.2%)で1割に満たなかった。(図表6-1-1)

図表6-1-1 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(重要度)



### 【地域別の状況】

《重要である》の割合を地域別にみると、「(1) 妊娠から出産後までの医療が充実していること」では、横須賀三浦(75.2%)を除く6地域(83.1%~86.4%)がそれぞれ8割台が多かった。「(2) 出産・育児について相談できる人や場が身近な地域にあること」では、川崎が81.8%で最も多かった。「(3) 保育所や放課後児童クラブなど、子どもを預かるサービスが充実していること」では、相模原が82.2%で最も多かった。「(5) 虐待、貧困、ひとり親など、特別な配慮が必要な子ども・家庭への支援が充実していること」では、横浜が81.2%で最も多かった。「(6) 教育費など、子育てに関する経済的負担が少ないこと」では、県央が81.7%で最も多かった。「(7) 若い世代の雇用が安定していること」では、湘南が80.3%で最も多かった。「(11) 社会全体で子育てを応援する必要性への理解が深まっていること」では、湘南が80.3%で最も多かった。(図表6-1-2)

### 【性・年代別の状況】

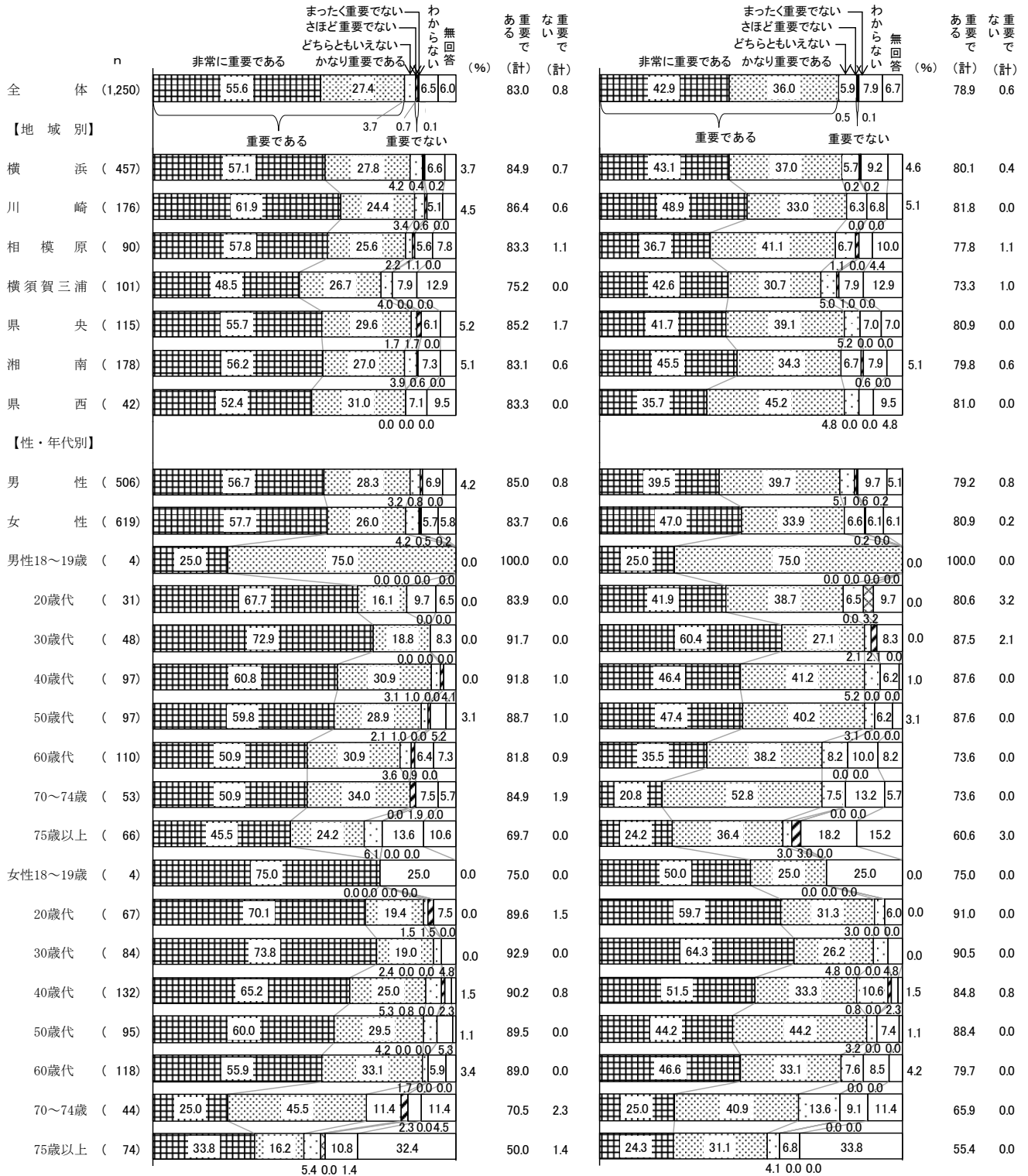
《重要である》の割合を性・年代別にみると、「(1) 妊娠から出産後までの医療が充実していること」では、サンプル数の少ない男性の18~19歳を除くと、女性の30歳代が92.9%で最も多く、次いで男性の40歳代(91.8%)と男性の30歳代(91.7%)が約9割で続いた。「(2) 出産・育児について相談できる人や場が身近な地域にあること」では、サンプル数の少ない男性の18~19歳を除くと、女性の20歳代が91.0%で最も多かった。「(3) 保育所や放課後児童クラブなど、子どもを預かるサービスが充実していること」では、サンプル数の少ない男性の18~19歳を除くと、女性の30歳代が95.2%で最も多かった。「(4) 妊婦や子連れでも外出しやすい施設やサービスが整っていること」では、女性の30歳代が91.7%で最も多かった。「(5) 虐待、貧困、ひとり親など、特別な配慮が必要な子ども・家庭への支援が充実していること」では、女性の20歳代が92.5%で最も多かった。「(6) 教育費など、子育てに関する経済的負担が少ないこと」では、女性の30歳代が91.7%で最も多かった。「(9) 配偶者の家事、育児への協力が得られること」では、サンプル数の少ない男性の18~19歳を除くと、女性の30歳代が94.0%で最も多かった。「(10) 住宅や公園など、子育てに配慮した環境が整っていること」では、女性の30歳代が92.9%で最も多かった。(図表6-1-2)

図表6-1-2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(重要度)

—地域別、性・年代別

(1) 妊娠から出産後までの医療が充実していること

(2) 出産・育児について相談できる人や場が身近な地域にあること

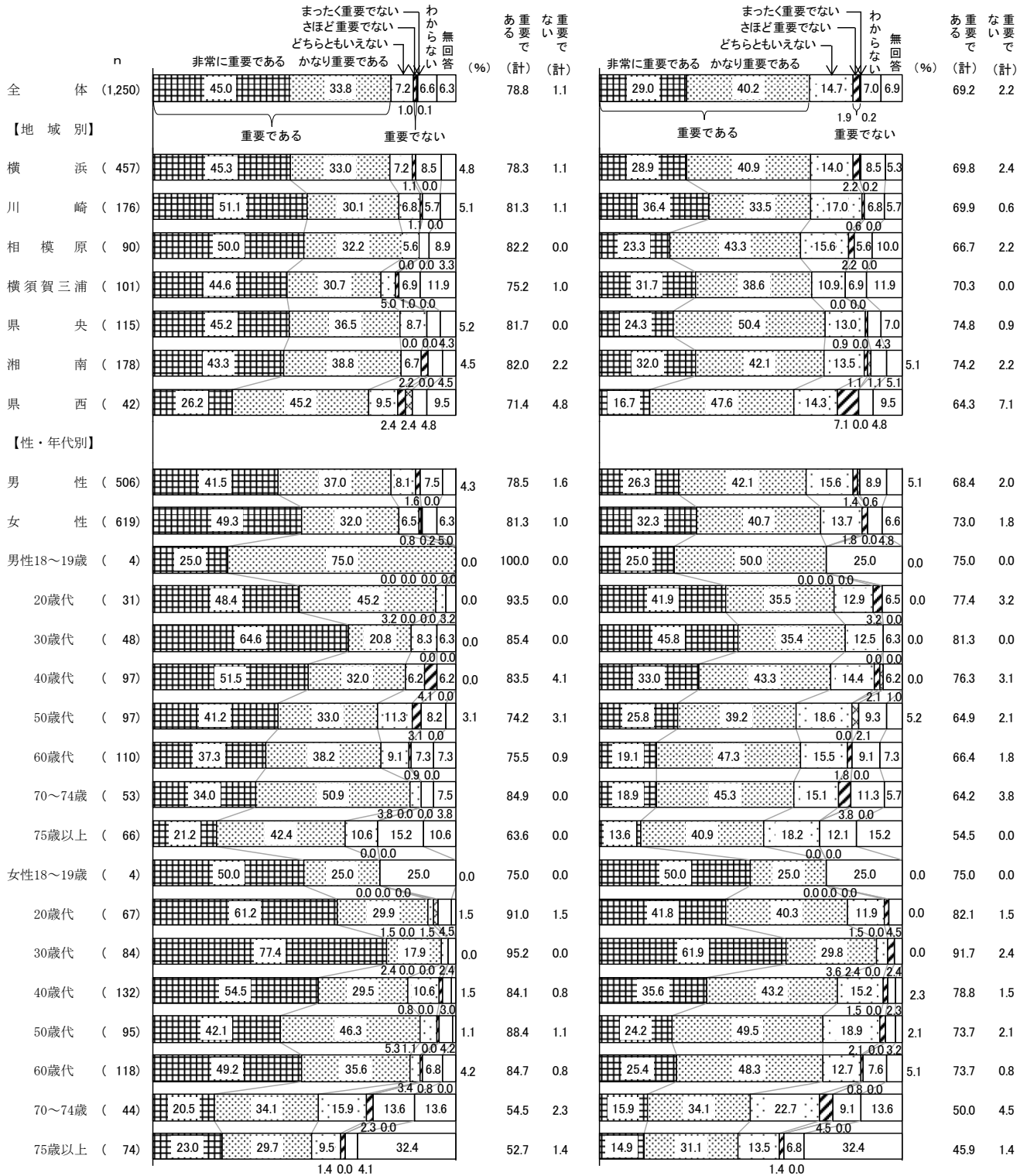


図表6-1-2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(重要度)

ー地域別、性・年代別(つづき)

(3) 保育所や放課後児童クラブなど、子どもを預かるサービスが充実していること

(4) 妊婦や子連れでも外出しやすい施設やサービスが整っていること

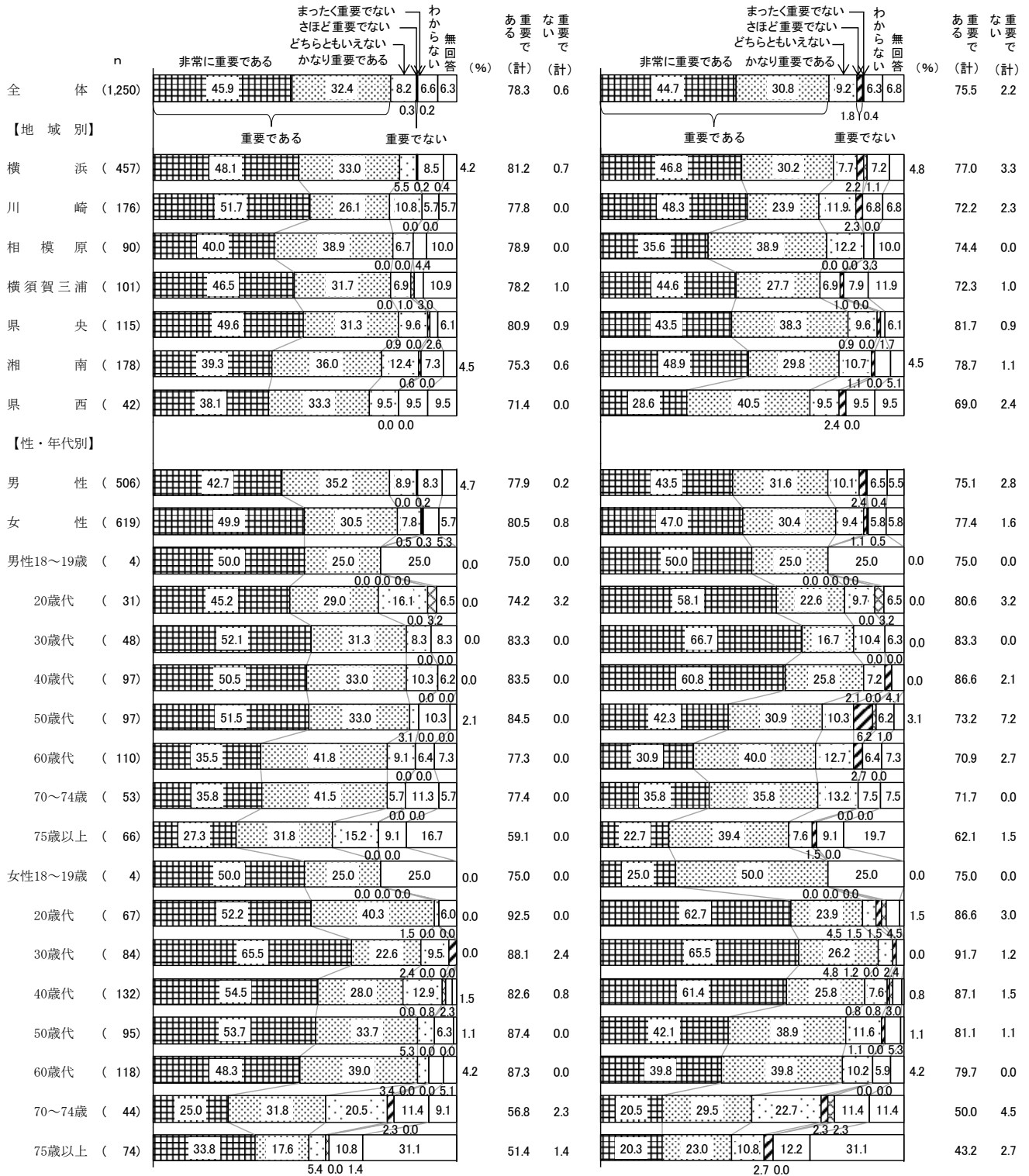


図表6-1-2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(重要度)

ー地域別、性・年代別(つづき)

(5) 虐待、貧困、ひとり親など、特別な配慮が必要な子ども・家庭への支援が充実していること

(6) 教育費など、子育てに関する経済的負担が少ないこと

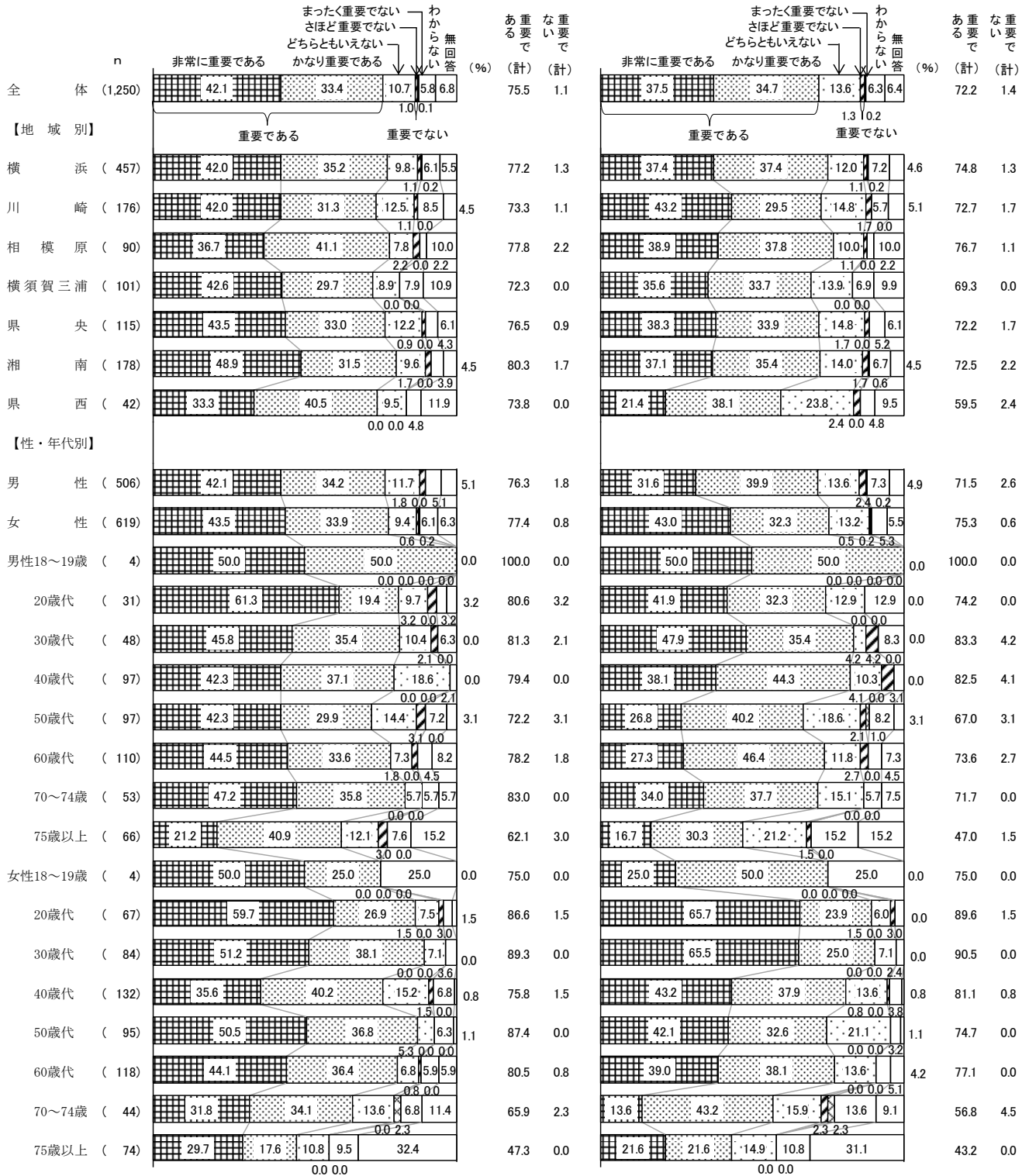


図表6-1-2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(重要度)

ー地域別、性・年代別(つづき)

(7) 若い世代の雇用が安定していること

(8) 男女ともに育児休業などを取りやすい職場環境が整っていること

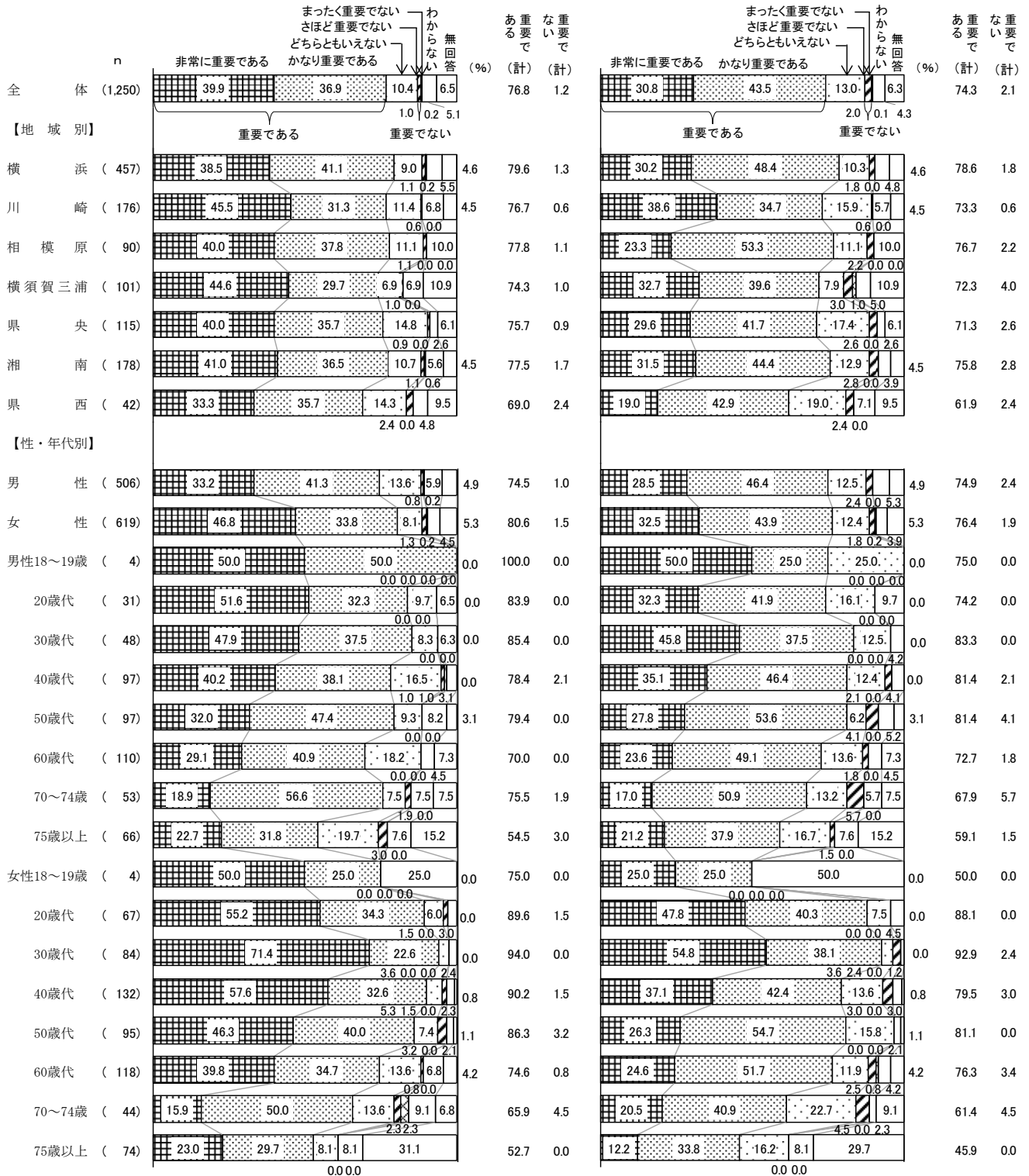


図表6-1-2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(重要度)

—地域別、性・年代別(つづき)

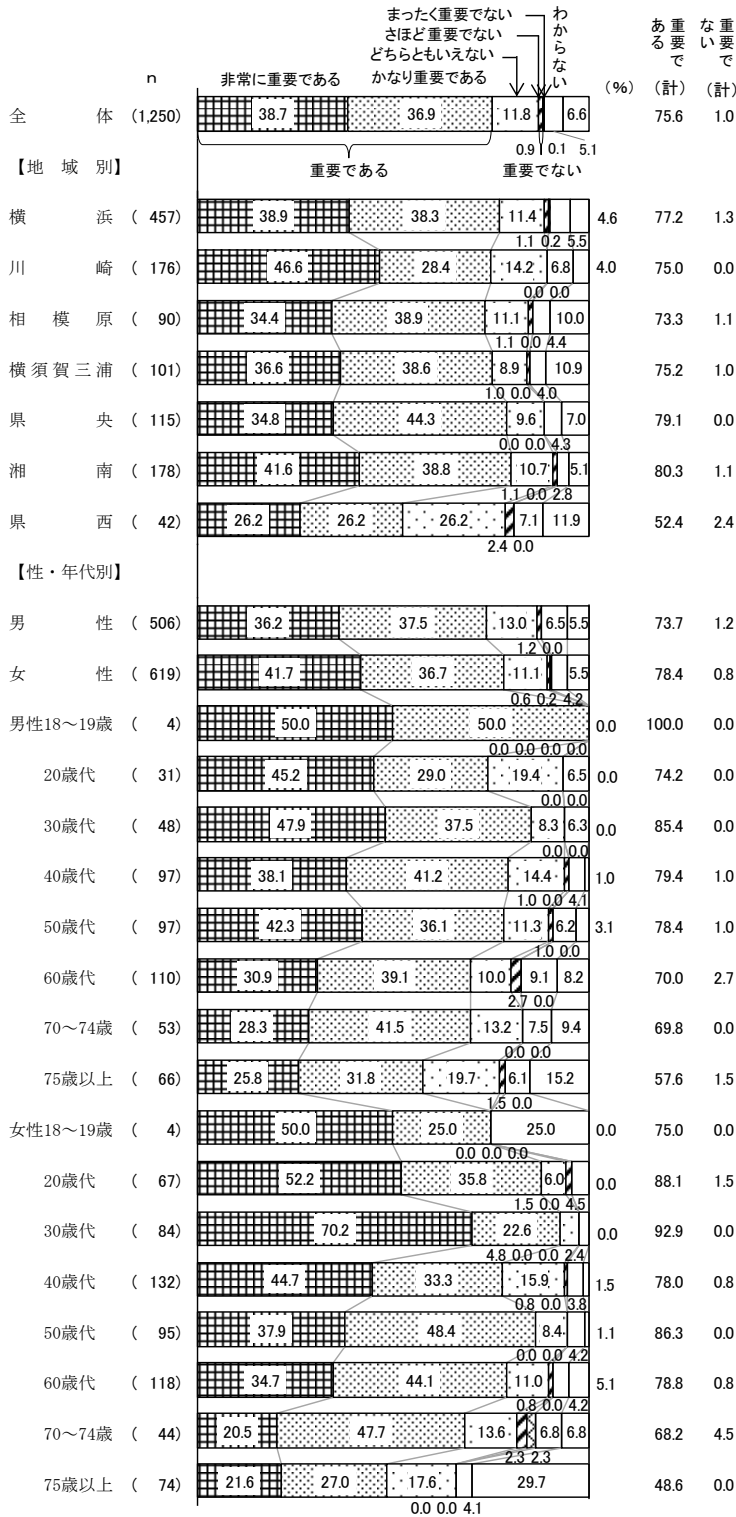
(9) 配偶者の家事、育児への協力が得られること

(10) 住宅や公園など、子育てに配慮した環境が整っていること



図表6-1-2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(重要度)  
 -地域別、性・年代別(つづき)

(11) 社会全体で子育てを応援する必要性への理解が深まっていること





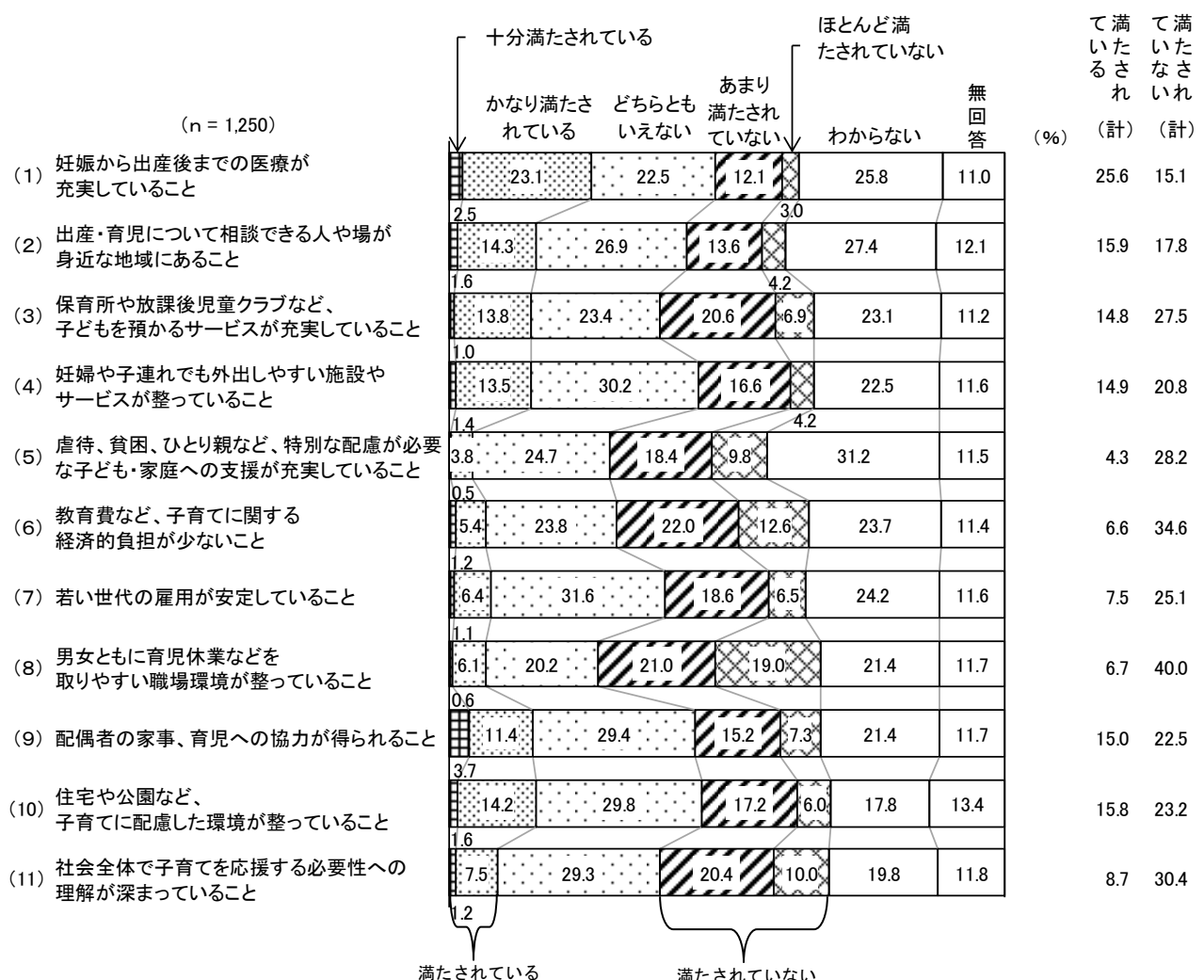
## 2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(満足度)【問23】

### 【全体の状況】

安心して子どもを産み育てられる環境の整備に関して11項目を提示し、それぞれどの程度満たされていると思うか尋ねたところ、「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせた《満たされている》では、「(1) 妊娠から出産後までの医療が充実していること」が25.6%で最も多く、「(2) 出産・育児について相談できる人や場が身近な地域にあること」(15.9%)と「(10) 住宅や公園など、子育てに配慮した環境が整っていること」(15.8%)が続いた。

一方、「ほとんど満たされていない」と「あまり満たされていない」を合わせた《満たされていない》では、「(8) 男女ともに育児休業などを取りやすい職場環境が整っていること」が40.0%で最も多く、「(6) 教育費など、子育てに関する経済的負担が少ないこと」(34.6%)と「(11) 社会全体で子育てを応援する必要性への理解が深まっていること」(30.4%)が続いた。(図表6-2-1)

図表6-2-1 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(満足度)



### 【地域別の状況】

《満たされている》の割合を地域別にみると、「(1) 妊娠から出産後までの医療が充実していること」では、横浜が27.6%で最も多く、次いで県央が27.0%であった。「(2) 出産・育児について相談できる人や場が身近な地域にあること」では、県西(7.1%)を除く6地域(14.8%~16.7%)でそれぞれ1割台であった。「(3) 保育所や放課後児童クラブなど、子どもを預かるサービスが充実していること」では、湘南が18.0%で最も多かった。「(4) 妊婦や子連れでも外出しやすい施設やサービスが整っていること」では、川崎が18.2%で最も多かった。「(9) 配偶者の家事、育児への協力が得られること」では、県西が19.0%で最も多く、次いで湘南が18.0%であった。「(10) 住宅や公園など、子育てに配慮した環境が整っていること」では、相模原が20.0%で最も多かった。(図表6-2-2)

### 【性・年代別の状況】

《満たされている》の割合を性・年代別にみると、「(1) 妊娠から出産後までの医療が充実していること」では、男女ともに40歳代(男性35.1%、女性31.1%)が最も多かった。「(2) 出産・育児について相談できる人や場が身近な地域にあること」では、女性の30歳代が29.8%で最も多く、次いで女性の40歳代が27.3%であった。「(3) 保育所や放課後児童クラブなど、子どもを預かるサービスが充実していること」では、サンプル数の少ない女性の18~19歳を除くと、男性の70~74歳(20.8%)・75歳以上(22.7%)、女性の70~74歳(25.0%)・75歳以上(23.0%)がそれぞれ2割を超えた。「(4) 妊婦や子連れでも外出しやすい施設やサービスが整っていること」では、女性の20歳代(22.4%)と70~74歳(25.0%)がともに2割台であった。「(7) 若い世代の雇用が安定していること」では、女性の20歳代が22.4%で最も多かった。「(9) 配偶者の家事、育児への協力が得られること」では、女性の30歳代が26.2%で最も多く、次いで女性の40歳代が25.8%であった。「(11) 社会全体で子育てを応援する必要性への理解が深まっていること」では、女性の70~74歳が20.5%で最も多かった。

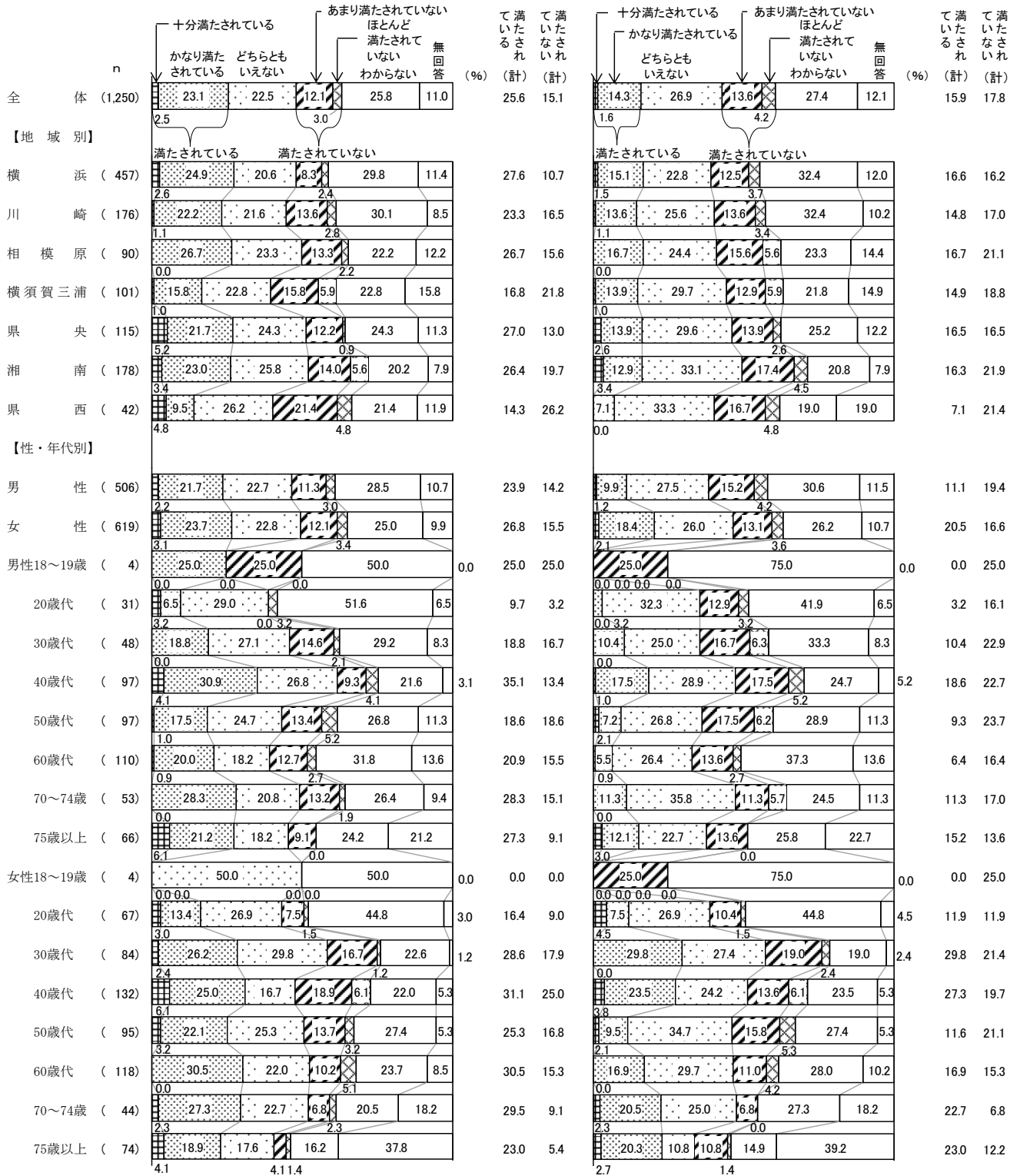
(図表6-2-2)

図表6-2-2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(満足度)

—地域別、性・年代別

(1) 妊娠から出産後までの医療が充実していること

(2) 出産・育児について相談できる人や場が身近な地域にあること



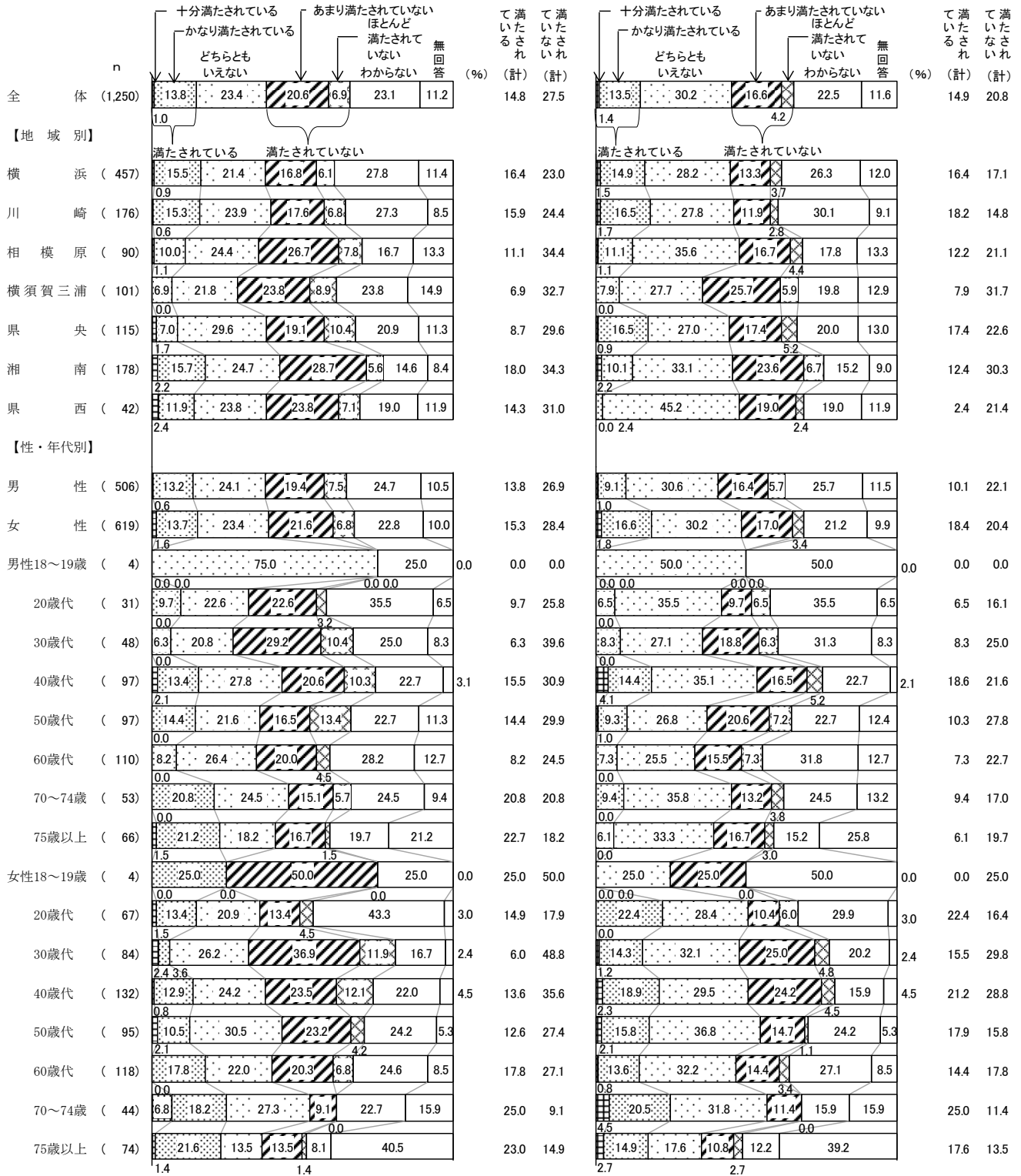
※問23のインターネット回答フォームに誤りがあり、(2)で、「《満足度》十分満たされている」と記載すべきところ、「《満足度》非常に重要である」と記載した(この選択肢の回答者は、4人)。誤っていた選択肢を選んだものは、「無効回答」とカウントし、「無回答」に含めて集計・処理している。

図表6-2-2 安心して子どもを子育てられる環境の整備(満足度)

ー地域別、性・年代別(つづき)

(3) 保育所や放課後児童クラブなど、子どもを預かるサービスが充実していること

(4) 妊婦や子連れでも外出しやすい施設やサービスが整っていること

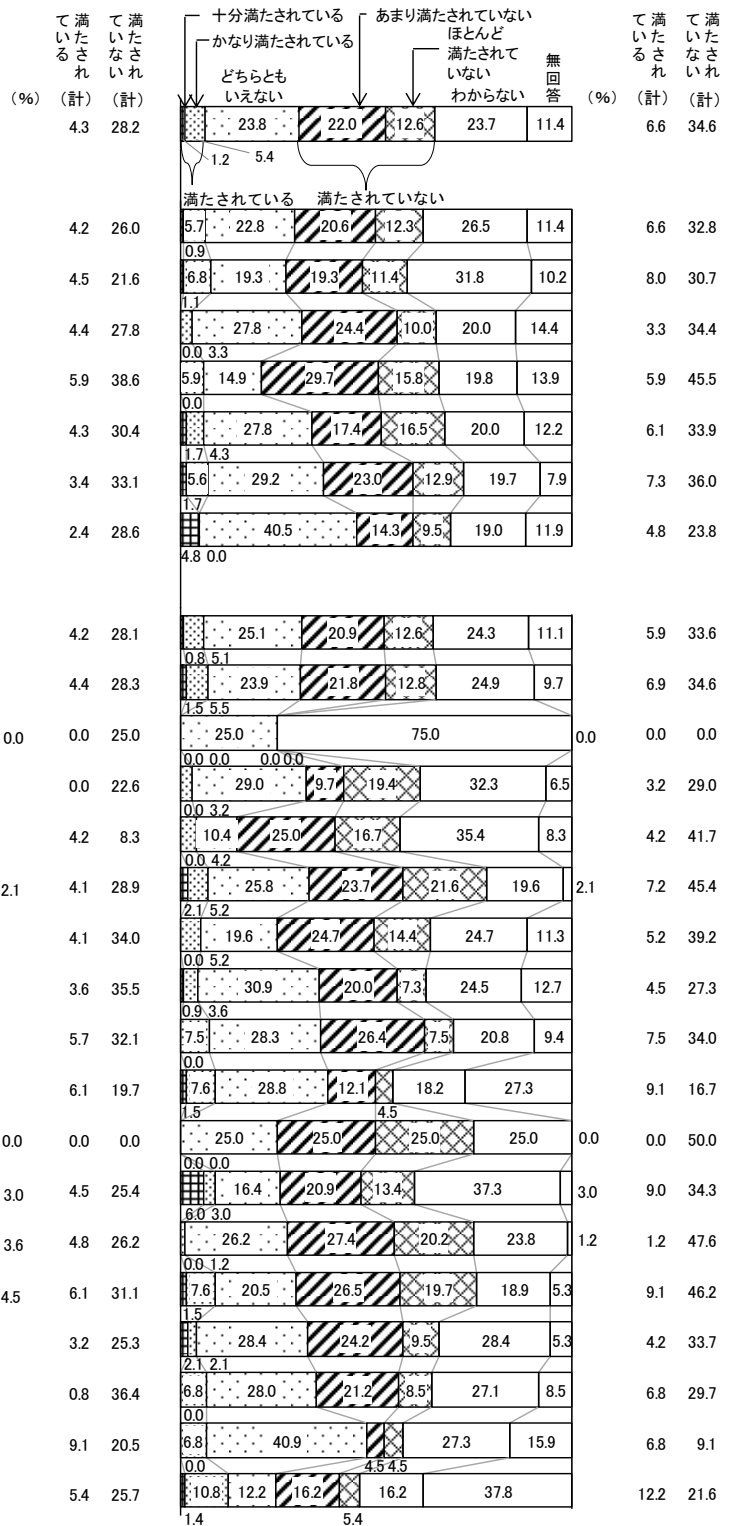
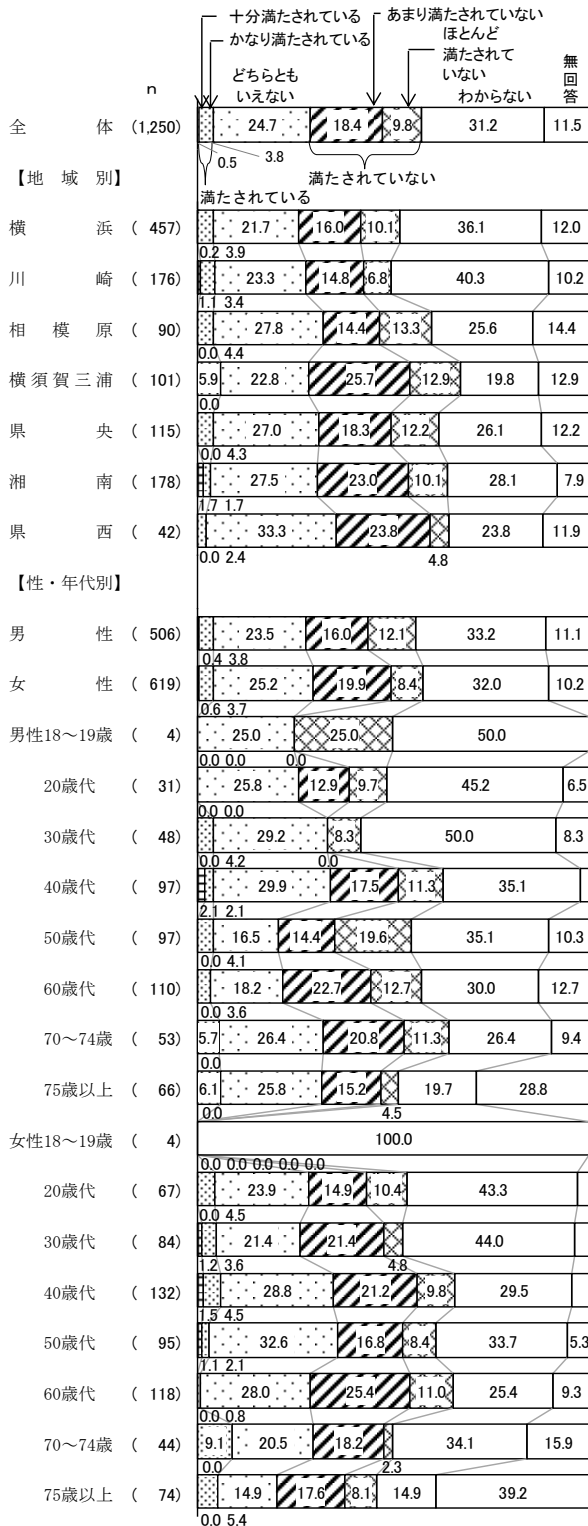


図表6-2-2 安心して子どもを生き育てられる環境の整備(満足度)

ー地域別、性・年代別(つづき)

(5) 虐待、貧困、ひとり親など、特別な配慮が必要な子ども・家庭への支援が充実していること

(6) 教育費など、子育てに関する経済的負担が少ないこと

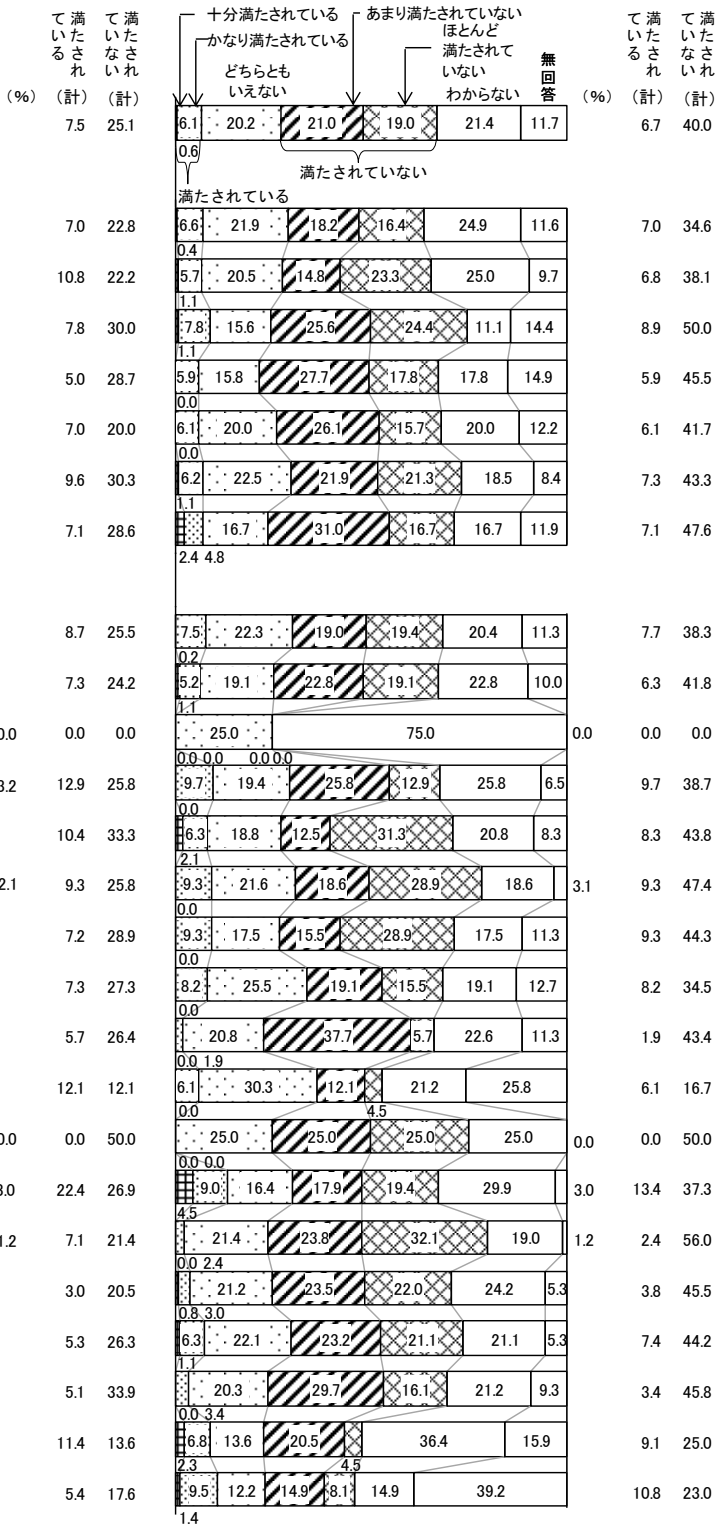
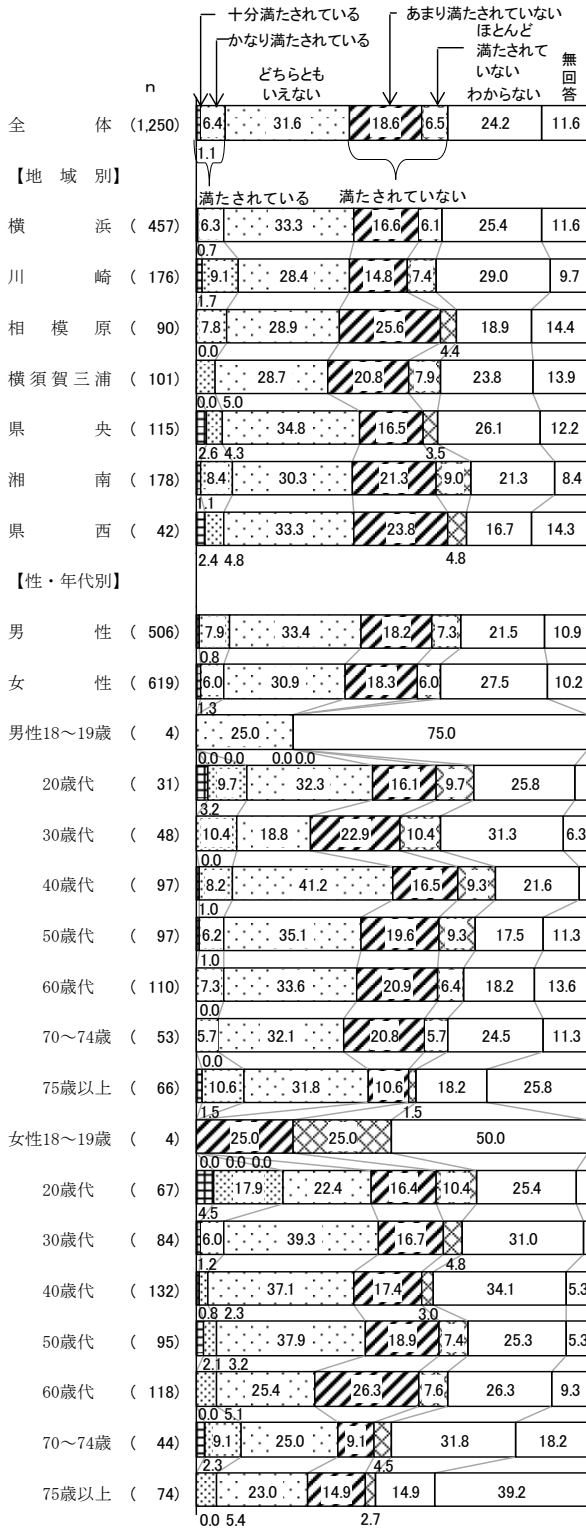


図表6-2-2 安心して子どもを生育育てられる環境の整備(満足度)

—地域別、性・年代別(つづき)

(7) 若い世代の雇用が安定していること

(8) 男女ともに育児休業などを取りやすい職場環境が整っていること

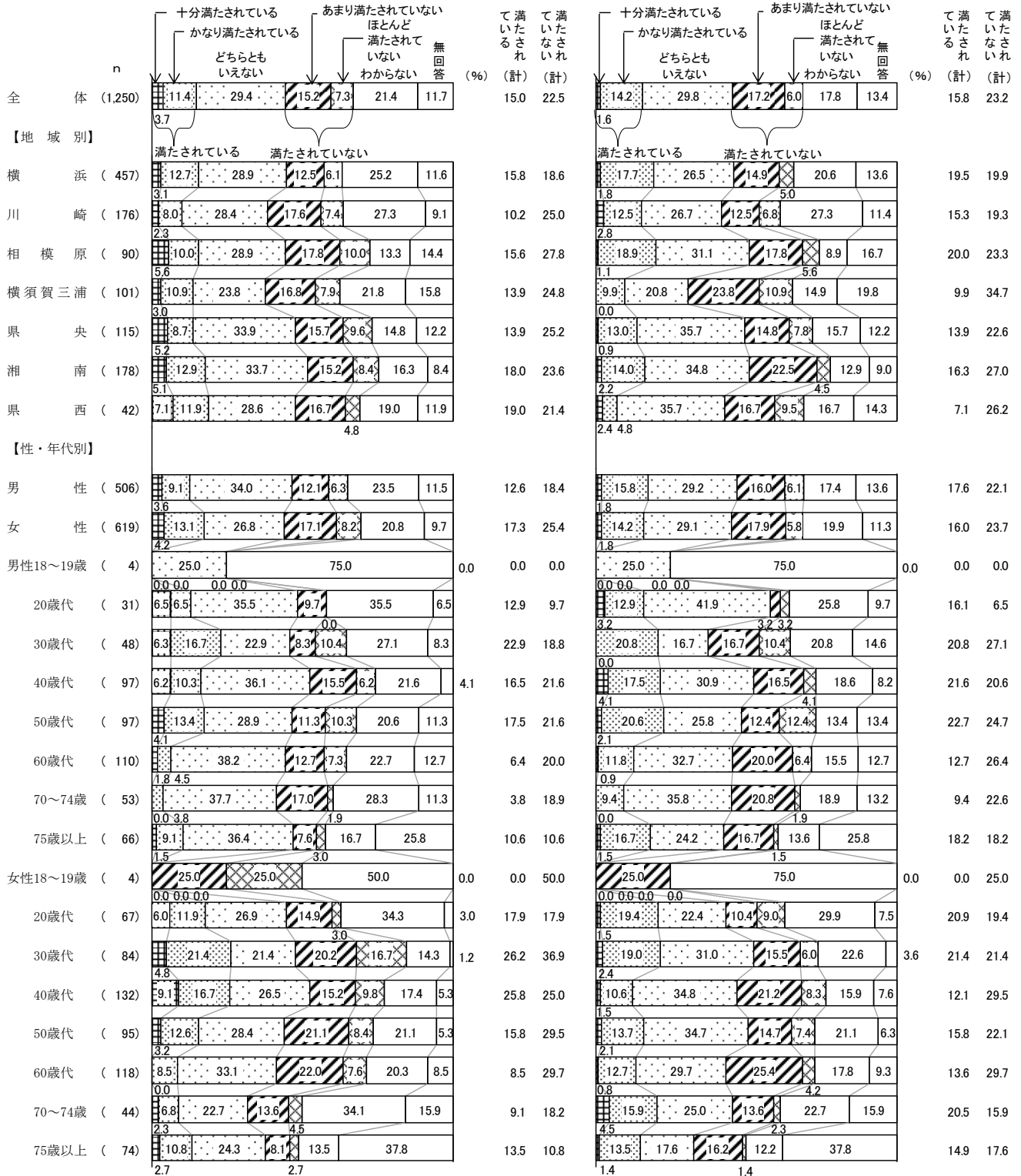


図表6-2-2 安心して子どもを生育てられる環境の整備(満足度)

—地域別、性・年代別(つづき)

(9) 配偶者の家事、育児への協力が得られること

(10) 住宅や公園など、子育てに配慮した環境が整っていること



※問23のインターネット回答フォームに誤りがあり、(10)「《満足度》あまり満たされていない」と記載すべきところ、「《満足度》あまり満たされている」と記載した(この選択肢の回答者は、20人)。誤っていた選択肢を選んだものは、「無効回答」とカウントし、「無回答」に含めて集計・処理している。

図表6-2-2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備(満足度)  
 -地域別、性・年代別(つづき)

(11) 社会全体で子育てを応援する必要性への理解が深まっていること

